



長野県議会 改革・新風

会派だより

第3号

(2012年) 平成24年1月

発行・編集/改革・新風
長野県庁県議会棟内(026)232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com

代表年頭ごあいさつ

長野県議会 改革・新風代表 倉田 竜彦



「改革・新風」県議団を代表して年頭のご挨拶を申し上げます。

私たち「改革・新風」は、産業振興と雇用の安定を図り、福祉・医療・教育など生活者の視点に立ち、将来に安心が持てる県政を目指すことを基本理念として、昨年四月に行われた県議選において県民の皆さんの負託を受けた十五人の議員で新たなスタートを切りました。

ており、世界を震撼させた東日本大震災以降、県内でも栄村や松本市でも大地震が発生するなど県民の安全・安心を確保する、生活者原点の政治のあり方が今こそ問われています。

厳しい県財政のもと、震災からの復興と県民の日々の暮らしを守る施策を最優先に、我々は政策集団として知事とは「是々非々」の姿勢を貫き、徹底した審議・提言を行い、積極的に改革に取り組み、いく決意です。



今年も会派一同がんばります！

- 吉川 彰一 (財務委員長)
- 石和 大 (政策審議副会長)
- 下沢 順一郎 (政務調査会長)
- 依田 明善 (政策審議副会長)
- 野澤 徹司 (幹事長代理)
- 中川 博司 (政策審議副会長)
- 寺島 義幸 (副代表)
- 荒井 武志 (政務調査副会長)
- 倉田 竜彦 (代表)
- 山岸 喜昭 (政務調査副会長)
- 竹内 久幸 (幹事長)
- 堀場 秀孝 (政務調査副会長)
- 小島 康晴 (政策審議副会長)
- 続木 幹夫 (広報企画副委員長)
- 甕 裕一 (広報企画委員長)

()内は会派役職

11月定例会

333億6000万円余

補正予算などを可決

11月定例会県議会は、11月24日に開会し、12月9日までの16日間の会期で開催されました。県内経済の下支えと雇用確保のため、国の第3次補正予算を最大限活用した「緊急経済活性化対策」1、栄村の復興に向けた基金の設置や被災施設の復旧などを盛り込んだ333億6911万2000円の一般会計補正予算案等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

長野県緊急経済活性化対策の実施

県有施設の耐震対策

災害時の指揮・情報伝達の拠点となる合同庁舎(上田、伊那、大町)や避難所となる高等学校など耐震対策を優先すべき施設の改修工事、設計を前倒し

老人福祉施設の整備

入所待機者の早期解消を図るため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホームの整備に対して助成

生活困窮者の「絆」再生への支援

生活困窮者等が社会から孤立しないよう相談活動や安心して過ごせる居場所づくりなど生活の自立に向けた支援を実施するNPO等の民間支援団体に助成

緊急雇用創出基金による取組

震災や円高の影響により離職を余儀なくされた方々の生活の安定に向けて雇用の場を確保するために緊急雇用創出基金を積み増し

地域医療再生基金による取組

地域医療再生基金の積み増し、救急がん医療の充実強化、人材確保・地域医療連携事業の実施

森林整備加速化・林業再生基金による取組

間伐の推進や作業道整備、林業機械導入などによる健全な森林づくりと県内林業・木材産業の活性化を図るために森林整備加速化・林業再生基金を積み増し

栄村の復興支援

栄村復興基金の設置

長野県北部の地震による災害からの復興を図る「長野県栄村復興基金」を新たに設置し、栄村の復興に向けた取り組みをきめ細かに支援

農林業者の生産活動への支援

栄村の住宅再建において、地元の木材利用を促進し地域木材産業の活性化を図るため、木材製品保管施設の整備に助成

その他

現場の視点でとらえた社会保障懇話会の設置

国における社会保障と税の一体改革について、現場の視点から社会保障の在り方を検討する懇話会を設置

中高一貫校設置のための施設整備

諏訪清陵高等学校に併設する中学校施設の実施設計などに着手

阿部知事に提言

10月24日、平成24年度当初予算編成と当面の課題について、県政全般に関する基本的施策27項目と各部署への要望192項目の合計219項目を会派として阿部知事に提言いたしました。主な要望、知事のコментарは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、ただ単にシーリングにこだわるのではなく、「選択と集中」で真に必要な事業には予算配分する

「県民主権を目指す上で重要と考えている。」

◎北陸新幹線延伸やリニア中央新幹線整備等に伴う「新交通ビジョン」については地域公共交通や幹線道路網の整備、観光振興策も位置づけること

◎知事の公約でもある「公契約条例」の制定を課題はあるが引き続き検討する。」

◎県立高校など老朽化した県有施設の改築のための大幅な予算の確保と基金積立などの実施を

「補正予算を組んでいくが引き続き行う。」

◎「信州型事業仕分け」を廃止し、事業評価に「第三者評価」を導入するなどシステムを発展させ、また県民参加の判定人制度を活かすため、県政課題を評価する「県民モニター制度」を導入すること

「仕分けは唯一絶対のやり方ではない。結論が出るよう議会で検討して欲しい。県民モニター制度は実現できる方向で考えたい。」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届けいたします。会派事務局までご連絡下さい。

長野県議会 改革・新風 県政対話集会

2012年1月24日(火) P.M 6時～
東御市中央公民館講堂

入場無料

皆様お気軽にお出掛けください